

2020（令和2）年11月6日

学生の皆さまへ

関西保育福祉専門学校長

新型コロナウイルス感染症を乗り越え、健康な学生生活を送るために

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、皆さんに改めて予防対策についての心得を周知し、実行の徹底を要請します。

新型コロナウイルス感染症は、普通の病気と異なり一人が感染すると、他人の健康を害したり、学習や生活を制限したりすることになります。皆さんは、アルバイトなど活動範囲が広く、多くの方々との関りが増えることから、小中高生と比べれば感染リスクが高いとも考えられるので、十分な予防対策を講じる必要があります。感染者を出さないため、3密を避け、個人衛生を徹底して、下記の事項をかならず守ってください。

皆さんが安心して学修を続けるためには、皆さん自身が感染予防に対するルールを守り、責任ある行動をとってください。

1. 登校前の体調管理と報告など

- ① 授業に出席する日は登校前に自宅で必ず検温をし、体調を確認してください。
- ② 風邪症状（のどの痛み・倦怠感・咳・頭痛・腹痛・下痢・鼻汁・吐気・嘔吐など）または発熱（平熱より高い）、味覚異常・嗅覚異常があった場合は、自宅待機の上、必ず教員（クラス担任）へ連絡し、指示を仰いでください。
- ③ 本人、同居のご家族でコロナ感染症、あるいは感染症の疑い、濃厚接触者の場合、自宅待機の上、必ず教員（クラス担任）へ連絡し、指示を仰いでください

2. 入構時の検温チェックおよび接触アプリCOCOAの登録確認

- ① 体温計で37.5℃以上を検出した場合は入構禁止とします。
- ② 37.0℃以上37.4℃以下の場合、再検温および健康チェックを実施し、風邪症状等問題がなければ、入構可とします。
- ③ 入構時に接触アプリCOCOAの登録確認を行ないます。未登録の場合はその場で登録していただきますので、事前に登録をしておいていただくことをお勧めします。

3. 学校内での感染予防5原則

- (1) 常時マスクを着用する（食事中を除く）。

- (2) 登校時、食事の前、トイレ使用の後は必ず石鹸と水で30秒以上手を洗う、あるいはアルコール消毒を行う。
- (3) 常に身体的距離を確保する（人との距離を最低1メートルあける）。
- (4) 部屋の換気を30分に1回は行う、また換気の悪い場所に長時間滞在しない。
- (5) 大声を出して会話をしない。

4. 対面授業での感染予防

- ① 教室では、「使用禁止席」に着席しないでください。
- ② 指定された座席以外には着席しないでください。
- ③ 他の学生との物の貸し借りを原則行わない。やむをえない場合には、持参のアルコール消毒液の入ったウェットティッシュなどで消毒を徹底してください。
- ④ 授業中に、発熱等の体調不良を感じた場合は、授業の終了を待たずに教員（クラス担任）へ連絡し、その指示に従ってください。

5. 休憩時間など授業中以外の待機時の感染予防

- ① 教室移動時には、必要に応じ廊下に配置されたアルコールを用いて手指の消毒を行ってください。
- ② 休憩時間には対面での食事や、大声や近距離での会話は避けるようにしてください。

6. 通学時の注意事項

公共交通機関を利用する場合、混雑している車両を避けるなど、対人距離を確保するように努めてください。下車後は手指の消毒や手洗いをするようにしてください。

7. 図書館の利用について

- ① 入退室時は入り口に設置されたアルコール消毒液で手指を消毒してください。
- ② PC利用時には「消毒済み」の札を確認し、使用してください。

8. パソコン室などのパソコンについて

- ① 入退室時は入り口に設置されたアルコール消毒液で手指を消毒してください。
- ② PC利用の前後も手指のアルコール消毒を行ってください。

9. 食堂の利用及び食事を摂る場合の注意事項

- ① 食堂の入室時には設置されたアルコール消毒液で手指を消毒してください。
- ② 食堂など座席に×印のある場所を使用しないでください。
- ③ 配膳カウンターに並ぶ場合は、ソーシャルディスタンスを保ち、指定された線やマークで待機し、前後の間隔を空けるようにしてください。

- ④ 食事中のみマスクを外し、飲食終了後はすみやかにマスクを着用してください。
- ⑤ 食事中の会話はしないようにしてください。また、どうしても会話が必要な場合には、最小限とし大きな声での会話は避けてください。
- ⑥ 他人の飛沫（せきやくしゃみの水滴）が自分の食事に落下しないように食べ物の配置にも配慮してください。
- ⑦ 食事後も食堂内でマスクを着用せずに雑談はしないでください。
- ⑧ 他の学生たちに席を譲るため、食事が終了したら、30分以内に速やかに食堂から退出してください。

10. 日常生活での基本的感染防止策

- ① 毎朝検温する習慣を身につけるようにしてください。
- ② 帰宅直後や外出時には、手洗い（30秒程度かけて水と石鹸等で丁寧に洗う）やアルコール消毒を徹底してください。
- ③ 普段から極力、顔面（特に眼・鼻・口）を触らないように心がけてください。
- ④ 会話をする際は、可能な限り真正面を避けるようにしてください。
- ⑤ 人との間隔は、できるだけ2メートル（最低1メートル）を確保するように努めてください。
- ⑥ 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用するようにしてください。
- ⑦ 室内のこまめな換気を行い、エアコン使用中においても換気を積極的に行ってください。
- ⑧ 免疫力を高めるため「十分な睡眠」「適度な運動」および「バランスのとれた食事」を心がけてください。
- ⑨ 発症したときの行動確認のため、自身の健康状態や誰とどこで会ったかの記録を残すようにしてください。

11. 学外イベント（多くの人々が集まるコンサートなど）への参加、クラスターの発生しやすい施設・場所（居酒屋、繁華街やライブハウスなど）

- ① 学外イベントなどへ行く際は会場で設定された事前登録システムに必ず登録してください。
- ② 参加時には3密（密集・密閉・密接）状況を避けるようにしてください。
- ③ 多人数（概ね5名以上）での会食はさけ、発熱やカゼの症状がある場合は絶対に参加しないようにしてください。
- ④ クラスターの発生し易いと思われる施設・場所への外出を控えてください。感染が流行している地域への移動はできるだけ避けてください。

12. 感染者や濃厚接触者に対する差別や偏見の防止

- ① 感染した人は「悪者」ではなく、被害者であり、風評被害に惑わされず、偏見を持たないようにしましょう。
- ② 感染リスクは全員にあります。「お互い様」であるという意識をもち、感染者や濃厚接触者に対し思いやりをもって接してください。

13. インフルエンザ予防接種について

今後、秋から冬にかけてインフルエンザの流行が起こります。現在、インフルエンザ予防接種が始まっています。学生の皆さんもできるだけ早く、インフルエンザ予防接種を受けるようにしてください。

14. 正しいマスクの着用について

感染リスクを下げるための最も効果的な対策は”マスクの正しい着用です。

- ・マスクであご・口・鼻を覆い、皮膚との隙間を最小限にしましょう。
- ・マスクの材質は“不織布マスク”が望ましい。
- ・複数の人がいる室内では着用しましょう。
- ・食事中はマスクを外すので飛沫感染リスクは増大します。
- ・食事の際は対面の席を回避しましょう。
- ・食事中は会話を控え、会話中はマスクを着用しましょう。
- ・屋外で人との距離が2 m以上離れている時は不要です。